

「課題名： 消化管原発悪性リンパ腫の治療成績に関する検討」について

○ 研究の意義・目的

消化管から発生するリンパ腫は比較的稀な病気であり、その治療法や背景別の予後や、合併してくる多くの病気などについて検討し、疾患の特徴を明らかにすることを目的としています。

○ 研究対象者

1996年4月1日～2030年3月31日に、広島大学病院を受診した消化管から発生した悪性リンパ腫を有する患者さんを対象とします。

○ 研究方法

消化管から発生する悪性リンパ腫で当院受診歴のある患者さんについて、診療録（カルテ）情報を調査し、様々な治療法を選択してきた症例に関する経過を調査し、情報解析を行います。

カルテから使用する内容は年齢、病理組織所見、性別、病期、血液検査所見、画像所見、治療開始時期、再発の有無、生存期間、内視鏡検査などによる腫瘍局在などです。内視鏡生検検体も使用させて頂く可能性があります。匿名化のうえ情報の解析を行います。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

○研究期間 2016年3月29日(倫理委員会承認後)～ 2030年3月31日

○試料・情報の管理責任者 広島大学大学院医系科学研究科 教授 岡 志郎

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1733

広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎 (研究責任者)